

圏での移住相談会や田舎暮らし体験モニターツアー等を開催するとともに、定住体験住宅の増設・貸出に加

## 【持続可能な地域づくりと安心・安全の確保】

佐渡で育った人たちが自分たちの地域をどうすべきか、自らが考え、行動していくことが重要です。

また、本市は離島であるがゆえに、自然災害等に対して脆弱な面があるため、市民が安心して暮らせる地域でのサポート体制に取り組む必要があります。

### (1) 地域づくりのための支援体制の強化

市民が安全・安心に暮らすことのできる地域づくりが成長力強化の基盤であり、地域の個性や自主性が地域活性化の核と言えます。

そのため、本年は地域の活性化計画等に基づき、地域が主体的に取り組む活動を応援します。

また、地域の活力の維持向上を図るため、地域おこし協力隊や地域活動支援員と連携しながら、集落行事や伝統芸能の継承、統廃合により廃校となった校舎や地区公民館を活用した拠点づくりに取り組みます。

さらに、ふるさと納税等、佐渡を応援していただいている市外の大勢の方々との交流を図り、地域活性化

え、空き家改修や住環境への支援等に取り組めます。

につなげていきます。

### (2) 医療・福祉体制と地域コミュニティの醸成

高齢者がいきいきと安心して暮らせる地域づくりを進め、認知症予防や地域による見守り体制の強化等の対策が不可欠です。



そのため、認知症予防の対策として、医師や民間団体と連携し、古くから佐渡で親しまれてきた太鼓を活用した「佐渡ならではの認知症予防対策」として多くの市民が参加できる環境づくりに取り組むとともに、その事業の分析と効果検証を進めます。

また、モデル地域において、集落の将来的な生活圏のあり方を検討し、活性化への取組を進めるとともに、

一人暮らしの高齢者の安否確認等により地域の見守り活動を推進します。加えて、医療・介護の体制を整えるため、現在導入されているさどひまわりネットの推進と、参加施設や利用者の増加に取り組めます。

さらに、高齢者の交通事故防止対策については、高齢者のバス運賃割引制度の拡充や運転免許証の自主返納によりバス・タクシー共通利用券を配布するなど、公共交通の利用促進及び安心・安全な地域づくりに取り組めます。

### (3) 防災体制の整備

自然災害等に対して、ソフト面では、地域防災リーダーのスキルアップ事業を実施するとともに、自治会や消防団との連携を強化し、将来的には小中学校での防災教育なども進めていきます。また、本年の防災訓練は、こ

れまで以上に実践的なものとするため、内閣府と共催で津波避難訓練を実施し、国・県・市の連携強化を図ります。ハード面



では、港湾等防災拠点の整備を進めるための両津港・小木港の港湾計画の見直しが進められています。早期に計画が実現するよう、引き続き国・新潟県へ強く働きかけていきます。また、大規模災害時に早期に避難所が開設できるよう、防災備蓄倉庫の新たな設置を進めます。

### おわりに

本年は、佐渡金銀山の国内推薦決定に向けて行動しなければなりません。世界文化遺産の登録が市内経済の活性化に大きく貢献することは間違いありません。市民一人ひとりがおもてなしの心を持って取り組み、産業の活性化につなげます。

また、本年は全国離島振興協議会の総会や全国棚田サミットの開催により、多くの方々に佐渡を訪れていただきますので、これを好機と捉え、佐渡の魅力を広くPRしていきます。佐渡の地方創生に向けて、創業支援ネットワークの構築、観光地域づくり、子育て環境の充実、そして佐渡の未来を担う人材の育成に取り組む、「日本一お客様に愛され、選んでもらえる島」を目指してまいりますので、議員の皆様並びに市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。平成28年度の施政方針いたします。